

# 住宅にワークルームや家事コーナーを

## コロナ禍時代でも落ち着いた生活を

コロナ禍を受け住宅事情が変化してきました。テレワークやオンラインそしてスティホームという横文字が使われ会社に行かず在宅勤務で仕事をする事になりました。

今までの住宅作りのコンセプトは、家族主義でお子様にやさしく個室を、そして奥様中心の作りに主眼置かれきました。

ところが突然家にご主人や子供が終日いるようになり生活スタイルが様変わりします。

ご主人の居場所が無い。奥様は終日お子さんやご主人の世話をしなければならず自分の仕事が出来なくなりました。

これまで住まいは、ご主人が家に居ないことが前提で作られていました。ご主人のスペースまたは個室がないのです。奥様のスペースも家事コーナーが用意されていても最小限のものだったようです。

「新しい生活様式」とか言って、手を洗う、うがいをする、換気をとる、三蜜を避ける、大声を出さない、ソーシャルデスタンスなど生活のマナー的なことが声高らかに宣言されました。

これらは別に新しいことでもなんでもなく、ほとんど常識的な事ではないかと思っています。

「換気をよくする」は、建築基準法で換気の基準があります。住宅も窓が小さくなる傾向にあるようです。

高層マンションの窓はあくのでしょうか。

「玄関ドア」のノブに手で開けなくても自動的に開閉できるようにするとか。

「玄関ドアに小窓」をつけ通風をとる。

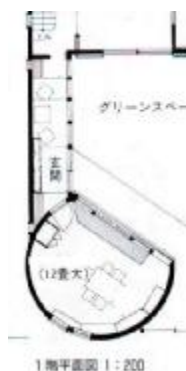
「水洗器具」手を近づけると自動的に湯水がでる。

「マスク・消毒液・ティッシュペーパー・トイレットペーパー」残量チェックが出来る。

「窓ガラス」を遮音性を高くする。

「個室の吸音性」を高めるなど住宅業界では、実施や対策がとられるという。

### 当事務所の書斎の実例



独立形



① 目前に爽やかな緑が広がるご主人のワークルーム  
グリーンスペースを通して、居間、和室の高も見える。

2階に



②と南面側。天井にはベントハウスへ向け  
る格子を収納。

2階の限られたスペース

主婦コーナー



キッチンの脇に



もし半壁システムキッチンと食器の収納スペースに設けられた  
キッチン。半壁・縦型・洗濯機収納の柱の付くことでキッチン



②設計当初から両側に設置していた家事室。写真中左側に  
見舞いこの設けられており、水栓と収納がセット済み。

主婦の導線



キッチンとユーティリティ

